

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別: 就労継続支援A型  
 事業所名: 長野県西駒郷駒ヶ根支援事業部  
 わーく西駒

判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。	[取り組み状況] 利用者が意思決定をしやすい環境を整え、主体性のある作業を目指している。 そのために利用者の自己選択・自己決定を尊重して、利用者の意向を踏まえた個別支援計画に繋げて支援をしている。わーく西駒のまめ匠では各工程を徐々に習得する仕組みをとって、熟練度とともに希望する工程への異動が可能である。  [改善課題] こうした支援の取り組みや観察結果を個別支援計画に反映し、自己決定を尊重する支援を具体的に職員間で共有するなど、継続的な経験の蓄積による資質の向上につなげることが期待される。
					■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。	
■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。						
■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。						
■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。						
■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。						
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。	[取り組み状況] 人権擁護・虐待防止委員会を設置して、全所を上げての新たな権利侵害防止の取り組みが始まっている。それは職員アンケートを実施し、分析・検討を加え、改善計画の策定に取り組んできている事である。また、定期的に虐待の芽チェックリストを実施して検討を加えたり、外部研修への参加、伝達研修、全職員対象の所内人権研修等々の積極的な取り組みである。 そして、緊急やむを得ない身体拘束に関する全ケースの点検・実態調査も実施し、可能な限り拘束に至らないための支援方法を模索するなど、拘束のない支援に向けた新たな取り組みも始めている。 それでも、虐待はいつ起こるか分からない。人権のベースに本来何があるのかなど、職員一人ひとりが人権感覚を磨ける環境作りが待たれるところである。 なお、就労に向け、利用者自身が人権を意識できる取り組みが始まることが期待される。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">                         利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。                     </div>						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
	2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li>■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li>■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li>■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li>■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 一番身近にいる現場担当者を中心に、利用者が自力で行う活動の範囲が広がるように、また、一人ひとりの状況を理解して、その人らしく活動できるように、個別支援計画に基づき支援に取り組んでいる。</p> <p>また、利用者はタイムカードや出勤簿の捺印なども行っている。</p> <p>[改善課題] 就労に向けての自律として、朝の出勤時には本人自身が整容・清潔・顔色、場合によっては体温・血圧などを確認して作業に入れるチェックリスト等の仕組みも期待される。</p>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</li> <li>■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</li> <li>■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</li> <li>■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</li> <li>■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] コミュニケーション手段の確保が難しい場合は、利用者の心身の状況に応じて様々な機会や絵カードや写真を使った意思表示を活用して、日常的な関りを通して取り組んでいる。</p> <p>なお、各作業工程は図や絵を活用して理解しやすいように取り組んでいる。</p> <p>[改善課題] 意思疎通が困難な方の場合、観察による判断が主となっている面もあり、より専門性の高い学習の機会の提供が期待される。</p>
					<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</li> <li>■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</li> <li>■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</li> <li>■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 個別支援計画の策定やこれに係るアセスメントでは面接・聞き取りが行われている。</p> <p>[改善課題] 一般就労に向けた仕事における報・連・相、会議等での意思表示、契約等における納得と拒否、プライバシーや人としての権利など、各種の理解・習得について更なる支援の仕組みが期待される。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。</li> <li>■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</li> <li>■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</li> <li>■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</li> <li>■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</li> <li>■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 個別支援計画策定にあたっては、本人との面談などの各種手順を踏んで、サービス管理責任者の決定・支援の実施となっている。</p> <p>また、各種文化活動などの情報提供のほか、作業によっては同業の一般企業への見学活動なども行って、活用できる仕組みなどは即採用している。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</li> <li>■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 36 利用者の不適合行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</li> <li>■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</li> <li>■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 把握した利用者の心身の状況を基に支援方法等の検討を行っている。</p> <p>課会、ブロック会議、ケース検討会等において、日常的に障がいや支援についての学習を深めている。</p> <p>[改善課題] 出勤時に、本人が可能な健康管理システムなど、自律を意識した取り組みへと進化することが期待される。</p>
		(2) 日常生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常生活支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</li> <li>□ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</li> <li>□ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</li> <li>□ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</li> <li>□ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</li> </ul>	<p>※自立しており、非該当とする。</p> <p>なお、昼食に関しては弁当を持参したり、敷地内の西駒会館で職員と共に食する者もいる。また、送迎も用意されている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。</li> <li>■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 建物の整備や改修を進め、休息室や作業場所の安全・安心確保に努めている。 また、更衣室・トイレなどは清潔・性差を考慮したものとしている。</p> <p>[改善課題] 要求される清潔さと作業内容を考慮すると、作業スペースと休息スペース等との温度差については、四季を考慮した更なる配慮が期待される。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</li> <li>■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</li> <li>■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 自立している機能も多く、医療機関との連携が主となっている。</p> <p>[改善課題] 各作業において、利用者が生産能力や稼働状況などの把握・理解ができるよう、グラフや表などの活用が期待される。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 出勤時の会話を通して健康状態の把握に努めている。 また、作業スペース入り口には服装や清潔さを意識・確認を促す掲示がある。</p> <p>[改善課題] 各作業の内容は健康管理・清潔が重要であり、自己管理能力を更に高める自己チェックリストの作成やその実施が期待される。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。</li> <li>■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</li> <li>■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 健康室マニュアルが整備されており、誤薬発生マニュアル、窒息の対処法、応急処置一覧、インフルエンザ対応マニュアル、ノロウイルス対応マニュアル、食中毒対応マニュアル等々が細部にわたって盛り込まれている。</p> <p>[改善課題] 事故・ヒヤリハット報告書などは、詳細に原因・対応等が記載され再発防止に取り組む姿があるものの、1週間後、1か月後など、その後の定期的な該当する利用者や職員の改善後の様子を残すなど、改善の確認をもって解決とする体制が期待される。</p>
		(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</li> <li>■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 長野県西駒郷全体で社会参加活動に取り組んでおり、地域の行事にも積極的に参加して地域住民との交流を深めている。 また、地域での各種催しの情報提供が行われている。</p> <p>[改善課題] 習得した作業を新人へ助言・指導できるように、各利用者が独自の作業・指導マニュアルを作成する仕組みや、全ての作業において同業者への見学など、学習の機会や社会参加の充実が期待される。</p>
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>□ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>□ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>□ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>□ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>※非該当とする。 なお、西駒郷全体で地域生活への移行に取り組んでおり、その後の相談やアフターケアは別部署にて行われている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 家族等が訪れる様々な行事には、にしこま祭・環境整備・三者面談・課の行事等があり、こうした機会に家族等と連携・交流を深めている。 また、個別支援計画の策定等を通じて利用者の生活や支援についても意見交換を行っている。保護者会の事業にも積極的な参加・協力をして連携を取っている。 広報誌「西駒だより」はカラフルで写真をふんだんに取り入れ分かりやすく、生活の様子が掲載され、楽しみに待つ家族等も多いと思われる。</p> <p>[改善課題] 利用者の平均年齢が34歳、就労継続支援A型施設は通過する施設、一般就労とA型施設での可能なもの不可能なものの違いなど、本人の希望・能力に合わせた見通しを持ったより密な内容が期待される。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 80 <del>子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。</del></li> <li>□ 81 <del>子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。</del></li> <li>□ 82 <del>子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</del></li> <li>□ 83 <del>子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</del></li> </ul>	※非該当とする。
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</li> <li>■ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</li> <li>■ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</li> <li>■ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</li> <li>■ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</li> <li>■ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 地域の企業との良好な関係を活用して一般就労へ向けた取り組みや、働く意欲・個性を尊重したやりがいを高める支援に努めている。 また、同業種の一般企業の見学を通して、でてきた改善意見などにも、適宜対応している。 一般企業と同様に消費者への意識も高まってきており、まめ匠や西駒会館の消費者、移動販売における地域高齢者に商品やサービスについてのアンケート調査を行い、それらの改善に活かしている。</p> <p>[改善課題] 作業内容で必要な健康管理・清潔などについて、更に自律度が向上する仕組みや、消費者アンケート結果の内容についても利用者を変えた密な話し合いなど、利用者が参画意識を持ち職員と共に一体的な運営に加わっていることが意識できる取り組みなどが期待される。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</li> <li>■ 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</li> <li>■ 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</li> <li>■ 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</li> <li>■ 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。</li> <li>■ 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 各工程を理解して実行できるようになると、希望の工程やローテーションでの作業が可能となっている。</p> <p>また、出勤の際はタイムカード及び出勤簿への捺印、工賃明細は職員と同様な様式で行われている。</p> <p>さらに、利用者の就労意欲や持てる能力の可能性の発揮に対して、まめ匠や西駒会館などの作業内容では限界もあり、新たに野菜の有機栽培・販売も視野に入れており、その効果が待たれるところである。</p> <p>なお、利用者の作業時間は状態も考慮して、1日5時間としている。</p>
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。</li> <li>■ 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</li> <li>■ 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</li> <li>■ 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</li> <li>■ 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</li> <li>■ 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</li> </ul>	<p>[取り組み状況] 一般就労に向けた職場開拓やその定着に努めているものの、マッチングが進んでいない現状である。</p> <p>[改善課題] 一般就労につながらず長期利用の方に向けた、支援内容の見直しが期待される。</p>